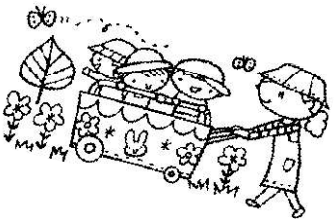
園庭の桜の木の隣に小さな桜の木を植えました。
4 年前、園舎の改修工事を行った時に、どうしても根を半分切らないといけない状況になったのです。
根が半分になれば木が弱っていくのは目に見えています。それでも、毎年何とか花を咲かせていました。
しかし、今年は枯れ枝が目立ち、幹から直接沢山の花芽が付いて開花したりと弱ってきていることが顕著となりました。
桜は、春の訪れを感じさせてくれ、「卒園式」や「入園の集い」を迎えるにはなくてはならない花です。秋には紅葉し落ち葉遊びにはもってこいです。
大きな桜の木が少しずつ小さくなっていくけれど、今年植えたものが、年々大きくなっていくように手入れを怠らないようにしていきます。植木屋さんが「園庭には桜の木にとっては危険がいっぱい。掘ったり、折ったりしないで子どもたちと見守る環境が大切です。」と話してくださいました。



5 月の行事

5 月 20 日（土）
保育参観日とクラス懇談会を
予定しています。